

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 27 年 6 月 17 日

理事長 松山 良一

訪日外客数 (2015 年 5 月推計値)

◇ 5 月 : 訪日外客数 / 前年同月比 49.6%増の 164 万 2 千人

- 2015 年 5 月の訪日外客数は、前年同月比 49.6%増の 164 万 2 千人で、これまで 5 月として過去最高だった 2014 年の 109 万 7 千人を 54 万 5 千人上回った。例年 5 月は 4 月の桜シーズンと夏休みシーズンの狭間で、伸び率が鈍化する傾向にあったが、今年に入ってから勢いは衰えず、単月としては 2015 年 4 月 (176 万 5 千人) に次ぐ、過去 2 番目の記録となった。5 月までの累計も 750 万人を突破し、引き続き好調なペースで推移している。

継続的な訪日旅行プロモーションの展開に加え、かねてからの円安傾向、航空路線の拡大、また近年の査証免除や要件緩和、昨年 10 月からの消費税免税制度の拡充など、環境、政策が合致したことが増加の要因。

- 市場別では、台湾、香港、インドが単月として過去最高を記録したほか、英国、ロシアを除く 18 市場が 5 月としての過去最高を記録した。特に東アジア市場においては、韓国が前年同月比 61.5%増、中国は同 133.6%増、香港が同 70.3%増と大きく数値を伸ばし、台湾を加えた 4 市場の合計は 116 万 3 千人と、当月の訪日外客数全体の 7 割以上を占めた。
- 6 月以降は多くの市場で夏休みシーズンに入り、訪日旅行市場の繁忙期を迎えることから、一層の訪日外客数の増加が期待される。なお、韓国における中東呼吸器症候群 (MERS) の感染拡大については、動向を注視する必要がある。

* 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数のエクセルデータは、下記のリンクからダウンロードできます。

◇ 月別推計値:

http://www.jnto.go.jp/jpn/news/data_info_listing/pdf/150617_monthly.xls

◇ 国籍/月別 訪日外客数 (2003 年~2015 年) :

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/pdf/2003_15_tourists.xls

◇ 最新の市場動向トピックス :

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/basic.html

※ 5 月のトピックスは 6 月末頃に掲載予定

お問い合わせ先 :

インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ

TEL : 03-3216-1901



平成27年 訪日外客数・出国日本人数

2015 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization(JNTO)

平成27年6月17日
17/Jun/2015

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成26年 2014	平成27年 2015	伸率 Change %	平成26年 2014	平成27年 2015	伸率 Change %
1 Jan.	944,009 (730,519)	1,218,393 (978,476)	29.1 (33.9)	1,253,404	1,235,612	-1.4
2 Feb.	880,020 (688,902)	1,386,982 (1,207,242)	57.6 (75.2)	1,404,873	1,257,154	-10.5
3 Mar.	1,050,559 (802,434)	1,525,879 (1,236,489)	45.2 (54.1)	1,596,751	1,534,026	-3.9
4 Apr.	1,231,471 (1,020,474)	* 1,764,700	* 43.3	1,189,132	1,144,833	-3.7
5 May	1,097,211 (892,577)	* 1,641,800	* 49.6	1,280,765	* 1,250,000	* -2.4
6 Jun.	1,055,273 (866,883)			1,289,029		
7 Jul.	1,270,048 (1,080,552)			1,414,912		
8 Aug.	1,109,569 (903,919)			1,783,127		
9 Sep.	1,099,102 (846,241)			1,520,863		
10 Oct.	1,271,705 (1,029,922)			1,417,766		
11 Nov.	1,168,427 (943,831)			1,355,246		
12 Dec.	1,236,073 (1,074,350)			1,397,520		
1~5 Jan.-May.	5,203,270 (4,134,906)	* 7,537,800	* 44.9	6,724,925	* 6,421,600	* -4.5
1~12 Jan.-Dec.	13,413,467 (10,880,604)			16,903,388		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数は、法務省の出入国管理統計からJNTOが独自に算出した数値である。

◆注3: 訪日外客数について、平成26年は確定値、平成27年1月~3月は暫定値、*部分は推計値である。

◆注4: 出国日本人数について、平成26年1月~平成27年4月は法務省資料から転記した数値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注5: 訪日外客数とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注6: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice).

◆Note 3. Visitor Arrivals figures for 2014 are definitive, and for Jan-Mar. 2015 are provisional, while * stands for the preliminary figures.

◆Note 4. Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice, while * stands for the preliminary figure compiled by JNTO.

◆Note 5. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 6. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2015年5月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for May, 2015 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2014年 5月	2015年 5月	伸率(%)	2014年 1月～5月	2015年 1月～5月	伸率(%)
総数	Grand Total	1,097,211	1,641,800	49.6	5,203,270	7,537,800	44.9
韓国	South Korea	195,263	315,400	61.5	1,068,358	1,567,800	46.7
中国	China	165,784	387,200	133.6	834,247	1,716,400	105.7
台湾	Taiwan	281,997	339,700	20.5	1,136,659	1,447,400	27.3
香港	Hong Kong	70,804	120,600	70.3	342,955	554,500	61.7
タイ	Thailand	62,254	81,000	30.1	294,267	380,100	29.2
シンガポール	Singapore	18,256	24,600	34.8	74,554	100,700	35.1
マレーシア	Malaysia	22,607	25,800	14.1	99,215	115,200	16.1
インドネシア	Indonesia	14,765	18,900	28.0	59,669	79,600	33.4
フィリピン	Philippines	19,313	27,800	43.9	78,398	119,900	52.9
ベトナム	Vietnam	7,897	12,300	55.8	51,057	81,300	59.2
インド	India	9,850	11,300	14.7	36,051	42,500	17.9
豪州	Australia	18,547	24,800	33.7	134,011	167,000	24.6
米国	U.S.A.	80,373	92,200	14.7	358,383	404,900	13.0
カナダ	Canada	15,951	20,700	29.8	74,084	94,800	28.0
英国	United Kingdom	16,846	19,900	18.1	89,270	105,000	17.6
フランス	France	14,879	20,300	36.4	70,847	87,500	23.5
ドイツ	Germany	12,101	14,300	18.2	57,390	66,500	15.9
イタリア	Italy	5,887	7,900	34.2	28,975	36,000	24.2
ロシア	Russia	5,041	4,300	-14.7	25,982	21,800	-16.1
スペイン	Spain	4,407	5,600	27.1	18,215	22,700	24.6
その他	Others	54,389	67,200	23.6	270,683	326,200	20.5

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：訪日外客数(訪日外国人旅行者数)は、法務省の出入国管理統計からJNTOが独自に算出した数値である。

◆注3：上記の2014年の数値は確定値、2015年の数値は推計値である。

◆注4：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice).

◆Note 3. Above figures for 2014 are definitive, and for 2015 are preliminary.

地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 61.5%増の 315,400 人で、5 月の数値としても過去最高を記録した。先月に引き続き 30 万人を突破し、勢いはさらに加速している。本年 5 月はメーデーや子供の日の並びや、韓国観光週間など連休取得を奨励する環境があり、これに折からの円安の継続等が加わり、引き続き好調な訪日需要を維持した。なお、韓国における、中東呼吸器症候群（MERS）の感染拡大については、今後の経過が注視される。
- **中国**は、前年同月比 133.6%増の 387,200 人で、引き続き旺盛な訪日需要を維持している。南方航空の広州－大阪便ダブルデイリー化、広州－福岡便の再開といった航空路線の拡充や、円安による買い物需要に加え、桜や芝桜等の鑑賞を目的とした訪日プロモーションが増加に寄与した。なお、韓国における中東呼吸器症候群（MERS）の感染が拡大していることを受け、訪韓を見合わせる動きがあり、影響が注視される。
- **台湾**は、前年同月比 20.5%増の 339,700 人で、5 月の数値として過去最高を記録した。5 月 4 日からエバー航空の台北－那覇線がダブルデイリー化するなど座席供給量が増すと共に、北海道や立山黒部アルペンルートがベストシーズンを迎え、団体、個人旅行ともに訪日需要の勢いが増している。6 月は、遠東航空が台中－関西便、タイガーエアが台北－那覇便を新規就航することにより地方路線が拡大し、夏期の需要拡大が期待される。なお、韓国における中東呼吸器症候群（MERS）の感染拡大を受け、台湾外交部は、2015 年 6 月 3 日付で韓国への渡航注意情報を発表しており、影響が注視される。
- **香港**は、前年同月比 70.3%増の 120,600 人と好調に推移し、4 月に引き続き、単月過去最高を更新した。持続する円安傾向や花々の鑑賞を目的とした旅行の人気に加え、4 月の大型連休のピーク時を避け訪日した個人旅行客がいたことが、旺盛な訪日需要の維持に貢献した。今年に入り、LCC の航空便の新規就航やフルサービスキャリアの増便が相次ぎ、地方路線を中心に航空座席供給量が増加したことも需要の拡大を後押ししている。韓国における中東呼吸器症候群（MERS）の感染拡大を受け、香港特別行政区政府は、2015 年 6 月 8 日付で韓国への渡航について旅行健康アドバイスを発表しており、影響が注視される。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 30.1%増の 81,000 人と、5 月単月としては過去最高を記録し、順調な伸びを示した。ソンクラーン休暇後の 5 月は例年オフシーズンとされるが、今年は 5 月 1 日～5 日が 5 連休となり、円安傾向の持続と相まって更なる旅行需要の増加につながった。タイの航空会社各社に通達された新規就航便や機材の変更等の認可凍結について、増便やチャーター便に対する時限的措置が延期されたこと、また、タイ・エアアジア X が 5 月 1 日からマレーシア国籍の機材によりバンコク－札幌便を新規就航したことも、増加を後押しした。

- シンガポールは、前年同月比 34.8%増の 24,600 人で、5 月として過去最高を記録した。円安傾向の継続や原油安に伴う燃油サーチャージの値下げが追い風となる中、旅行博への出展や女子旅キャンペーンによる情報発信が奏功した。また、昨年来、訪日路線を有する航空会社各社との共同広告を継続的に展開してきたことも、一般消費者への露出増加につながり訪日旅行需要の拡大に貢献した。
- マレーシアは、前年同月比 14.1%増の 25,800 人で、5 月として過去最高を記録した。2013 年 7 月に施行されたビザ免除プログラムによる送客効果が一巡し、伸び率は落ち着いたものの、芝桜の見ごろや立山黒部アルペンルートのシーズンが本格化したことに加え、航空会社各社の訪日プロモーションや、VJ 事業としての一般消費者向けの旅行博「MATTA フェア」への出展などが奏功し、5 月の旅行需要を押し上げた。
- インドネシアは、前年同月比 28.0%増の 18,900 人で、5 月として過去最高を記録した。継続的な旅行博出展・開催に加え、IC 旅券保持者を対象とした査証免除を契機として昨年から継続的に行っている旅行会社との共同広告等、時宜を得た訪日プロモーションが奏功した。また、地道な誘致活動が結実し、現地保険会社が約 1,100 名規模のインセンティブ(報奨)旅行を催行したことも数値の増加に貢献した。
- フィリピンは、前年同月比 43.9%増の 27,800 人で、5 月として過去最高を記録した。フィリピン経済の好況を背景に、査証緩和の浸透や旅行フェアでのプロモーションが奏功。3 月に新規就航したセブ・パシフィック航空のセブー成田便、4 月に週 11 便から週 12 便に増便したフィリピン航空のマニラ-羽田便も、訪日旅行需要を後押しした。6 月からの新学期を控え、5 月から夏にかけては、例年、海外旅行需要が減少する傾向にあるが、今後もメディア招請や旅行博での情報発信を強化していく。
- ベトナムは、前年同月比 55.8%増の 12,300 人で、41 か月連続で各月の過去最高を更新した。査証要件の緩和や経済情勢の回復を追い風に、共同広告の展開や SNS による情報発信等、継続的な訪日プロモーションが奏功。富山、仙台へのチャーター便による訪日ツアーの催行も数値に貢献した。また、昨年 7 月に就航したベトナム航空のダナン - 成田線の増便(週 4 便→週 5 便)も、訪日外客数の増加を押し上げる一因となった。
- インドは、前年同月比 14.7%増の 11,300 人となり、単月として初めて 10,000 人を超えた。4 月から 6 月はスクールホリデーにより、インドでは一年で最大の旅行シーズンを迎える。この為、昨年からのこの時期の訪日客増加を見据えて、デリーとムンバイの高級ショッピングモール内にて富裕層をターゲットとした広告露出を図り、インドにおける旅行先としての日本の更なる認知拡大に努めている。

2. 豪州、北米

- 豪州は、前年同月比 33.7%増の 24,800 人と、5 月として過去最高を記録した。2014 年 4 月末に新規就航したジェットスターのメルボルン-成田便などの要因により、着実に訪日客が増加している。5 月は中旬にプリンセスクルーズ社のサンプリンセス号が長崎、大阪、横浜に寄港したことも需要の上乗せに繋がった。
- 米国は、前年同月比 14.7%増の 92,200 人で、5 月として過去最高を記録した。かねてから

の円安基調に加え、2月の燃油サーチャージ引き下げにより4月以降昨年同期比で航空運賃が割安となり、訪日旅行需要の増加を後押ししている。旅行エージェント向けセミナーやSNS等を通じた情報発信に加え、4月～5月期の新たな魅力として、北海道・東北・北陸信越地域での花見や春スキーなどをウェブサイト上で発信してきたことも数値の押し上げに貢献した。

- **カナダ**は、前年同月比29.8%増の20,700人と、5月として過去最高を記録した。共同広告や旅行博出展などのVJ事業の実施、円安傾向の継続が追い風になった。冬ダイヤ中運休していたエアカナダのトロント～成田線が5月1日より再開したほか、同日よりエアカナダ・ルージュがバンクーバー～関西空港線を新規就航するなど、日加間の航空座席供給量は過去最大となったことから、夏期の需要拡大が期待される。

3. 欧州

- **英国**は、前年同月比18.1%増の19,900人と順調な伸びを見せた。イギリス経済の安定に加え、5月に入って再び円安が進行し、比較的VJ事業の効果が得やすい状況にある。また、航空座席の販売開始価格が、直行便がブリティッシュ・エアウェイズで600ポンド(約110,000円)以下、経由便では複数社が550ポンド(約101,000円)以下に設定されているなど、円安機運とあいまって訪日旅行需要増加の追い風となっている。
- **フランス**は、前年同月比36.4%増の20,300人で、5月として過去最高を記録した。円安の継続が、特に個人旅行者層における訪日旅行の相対的な割安感の浸透に寄与している他、年明けからの旅行博出展や訪日旅行セミナーの開催、航空会社との共同プロモーションの実施など継続的なプロモーション展開が訪日需要の増加に貢献した。
- **ドイツ**は、前年同月比18.2%増の14,300人で、5月として過去最高を記録した。円安傾向の継続による訪日旅行の割安感やドイツ経済の安定基調を追い風に、先月に続き2ヶ月の伸びを示した。SNSやウェブサイトを通じた情報発信や、現地旅行エージェント向けのセミナーの実施による訪日旅行需要喚起の取り組みが奏功したと思われる。
- **イタリア**は、前年同月比34.2%増の7,900人で、5月の過去最高を記録した。旅行博への出展、セミナーの開催、共同広告の出稿、テレビCMなど、各種訪日プロモーションを継続的に展開してきた成果が5月の需要増に貢献した。
- **ロシア**は、前年同月比-14.7%減の4,300人で、ルーブルの下落は収まったものの、訪日客の減少には歯止めがかかっておらず、回復にはまだ時間がかかる見通しである。しかしながら、5月末にウラジオストクで行った旅行博出展や訪日セミナー開催の様子は、現地の有力媒体にも取り上げられ、訪日意欲の喚起に一定の成果があった。他の欧州やアジア諸国との比較においては、訪日ロシア人数の落ち込みは浅く、経済情勢の好転による早期回復が望まれる。
- **スペイン**は、前年同月比27.1%増の5,600人となり、2ヶ月ぶりに増加に転じた。2013年から2014年にかけて実施された日本スペイン交流400周年記念事業における日本の露出拡大により現地での訪日旅行意欲が高まる中、円安基調を背景とした訪日旅行の割安感の定着と、スペイン経済の回復基調が追い風となっている。

2015年 訪日外客数(総数)

出典：日本政府観光局(JNTO)

*本表で、通年の月別・市場別の推移が確認できます。伸率は前年同月比を表しています。

単位：人数(人)、伸率(%)

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率
総数	1,218,393	29.1	1,386,982	57.6	1,525,879	45.2	1,764,700	43.3	1,641,800	49.6															7,537,800	44.9
アジア計	1,018,348	32.9	1,200,651	66.2	1,243,295	50.9																				
韓国	358,093	40.1	321,576	38.9	268,156	39.6	304,600	57.0	315,400	61.5															1,567,800	46.7
中国	226,214	45.4	359,080	159.8	338,121	83.7	405,800	113.0	387,200	133.6															1,716,400	105.7
台湾	217,035	10.2	277,626	45.2	277,934	33.2	335,100	29.9	339,700	20.5															1,447,400	27.3
香港	87,742	38.2	109,384	68.8	117,223	81.8	119,600	50.7	120,600	70.3															554,500	61.7
タイ	44,770	64.8	44,038	28.3	92,438	30.0	117,900	18.6	81,000	30.1															380,100	29.2
シンガポール	11,813	8.5	16,293	57.1	23,147	41.3	24,800	32.9	24,600	34.8															100,700	35.1
マレーシア	12,312	-11.8	19,269	36.6	28,193	20.6	29,600	17.6	25,800	14.1															115,200	16.1
インドネシア	9,683	35.8	8,094	24.0	19,542	36.6	23,400	38.1	18,900	28.0															79,600	33.4
フィリピン	14,428	57.5	14,190	89.3	26,786	110.8	36,700	23.5	27,800	43.9															119,900	52.9
ベトナム	12,266	82.9	9,489	27.9	18,736	68.1	28,500	59.3	12,300	55.8															81,300	59.2
インド	7,771	12.8	5,982	20.1	8,228	19.4	9,200	23.7	11,300	14.7															42,500	17.9
イスラエル	671	16.9	722	26.0	3,068	9.1																				
トルコ	924	-27.1	955	12.0	1,866	78.9																				
ヨーロッパ計	62,847	10.6	69,706	18.8	118,398	25.5																				
英国	15,030	7.6	17,770	19.8	25,205	25.8	27,100	14.9	19,900	18.1															105,000	17.6
フランス	10,035	9.9	11,951	34.6	18,090	14.6	27,100	22.3	20,300	36.4															87,500	23.5
ドイツ	8,325	13.0	9,815	9.6	18,374	33.6	15,700	3.2	14,300	18.2															66,500	15.9
イタリア	4,168	27.1	4,680	23.2	8,869	35.6	10,400	9.9	7,900	34.2															36,000	24.2
ロシア	4,024	-6.1	2,781	-18.8	5,503	-14.4	5,200	-23.6	4,300	-14.7															21,800	-16.1
スペイン	2,501	27.5	2,806	30.3	6,330	74.1	5,500	-9.2	5,600	27.1															22,700	24.6
スウェーデン	2,948	17.3	2,662	17.4	5,146	25.6																				
オランダ	2,145	4.3	2,478	12.1	4,230	19.2																				
スイス	1,677	16.0	1,849	18.1	3,773	36.6																				
ベルギー	1,046	16.1	1,435	41.1	1,982	18.5																				
フィンランド	1,501	5.3	1,401	5.8	2,323	1.5																				
ポーランド	801	13.6	1,080	49.6	1,775	-0.8																				
デンマーク	1,196	7.2	1,224	9.3	2,578	51.6																				
ノルウェー	1,114	15.6	1,112	18.2	2,636	84.3																				
オーストリア	1,024	16.0	1,100	20.6	1,908	51.3																				
ポルトガル	777	10.2	1,004	41.6	1,516	39.1																				
アイルランド	936	0.6	930	13.6	1,399	36.1																				
アフリカ計	1,801	-1.6	1,746	20.9	3,273	27.0																				
北アメリカ計	78,654	5.6	77,636	19.1	121,592	21.5																				
米国	62,081	3.9	59,157	13.7	95,609	18.1	95,900	12.4	92,200	14.7															404,900	13.0
カナダ	14,250	10.9	16,304	42.8	21,638	34.6	21,900	23.2	20,700	29.8															94,800	28.0
メキシコ	1,694	25.9	1,678	24.9	3,561	44.7																				
南アメリカ計	3,998	19.2	3,257	19.9	6,102	11.2																				
ブラジル	2,303	22.0	1,709	30.0	3,423	12.4																				
オセアニア計	52,692	28.7	33,925	14.7	33,116	36.6																				
豪州	48,583	30.0	30,303	14.0	29,178	36.8	34,100	13.0	24,800	33.7															167,000	24.6
ニュージーランド	3,932	16.8	3,474	23.9	3,558	33.7																				
無国籍・その他	53	51.4	61	60.5	103	49.3																				

注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

注2：1-3月の数値は暫定値、4-5月の数値は推計値である。

注3：赤字は2015年6月18日付で修正した数値である。

